

2日目 7月16日

会 場： 県立浜山球場

第2試合		～1回戦～																	
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E	
出雲工業	0	0	0	0	0	2	0	0	0							2	3	1	
津和野	0	0	0	0	1	0	2	0	X							3	5	0	
(投手-捕手)																			
・ (出)	大野 - 山本																		
・ (津)	岡 - 中島																		
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)						
・ (出)	辻																		
・ (津)	三家本																		
(審判) [球審] 清水洋		[一塁] 清水繁				[二塁] 倉本				[三塁] 仁科大									
(チーム成績)																			
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨	
(出)	30	3	2	1	0	0	14	3	0	1	4	0		1	3	0	0	0	
(津)	25	5	1	1	0	0	6	3	3	0	4	1		0	0	0	0	0	
「津和野のエース岡、14奪三振の快投光る！」																			
<p>4回終了時までで津和野が走者1人出しただけという締まった展開が続いた。試合が動いたのは5回裏、津和野はこの回先頭の5番三家本の右中間への2塁打でチャンスをつくと、2連続で暴投があり先制点を奪った。</p> <p>しかし、直後の6回表、出雲工業は9番小白金がチーム初安打を放つと四球で1死1・2塁のチャンスで2番辻が左越の適時2塁打で逆転に成功した。しかし、7回裏に津和野は2本の安打と死球で1死満塁とし、8番増本のライトへの犠飛で同点に追いつく。さらに暴投で勝ち越しに成功し、そのまま逃げ切った。</p> <p>津和野のエース岡は9回を投げ抜き被安打3、14奪三振の好投だった。出雲工業のエース大野も好投したが、痛い所での暴投に泣いた。</p>																			

